

# モード Mode Mode は語る

中野 香織

肉も魚も好きなので、徹底した菜食のヴィーガン料理に偏見があった。コースを食べて驚き、創意に富んだ、未経験の味わいの数々に偏見が一掃された。こんなクリエイティブでおいしいヴィーガンなら、喜んでまた食べに行きたいと思う。

一部の「サステナブルファッション」にも、やや抵抗を感じていたところがある。サステナブルばかりうたう態度に絶対善の押し付けを感じる。SDGsバッジをつけていたら時代の正義に貢献している安心感が漂う、あの感覚に近い。

KAPOK KNOT (カポック ノット) はその点、風通しがいい。東南アジアに自生するカポックという植物の実

## カポック ノット

# 植物由来 軽く薄いダウン

から生まれた「サードウエーブのダウン」を扱うブランドである。ダウンなのに極薄で、軽いのに暖かく、デザインはジェンダーレスで洗練されている。高機能とデザインのバリエーションでまず魅了し、アニマルフリーで森林環境を守る素材のストーリーは、その後に伝える。正義の押し付けがなく、サステナブルな世界にすんなり導かれる。

こうしたアプローチで、サステナブルファッションと社会との橋渡しをする創業者の深井喜翔(29)は、老舗アパレル企業の4代目。アパレル産業の構造を根本的に変え、日本から世界に通じるブランドを作るべく、家業と独立した形で



カポック ノットのダウンコートを着る創業者の深井喜翔さん

2019年10月に事業を立ち上げた。以来、クラウドファンディング2回で累計3000万円を達成している。ブランドを支えるメンバーの多くは副業であること、購入者とのコミュニティづくりに力を入れていることも、新時代の風を感じさせる。

起業して1年ちょっと、ノウハウも前例もないビジネスを切り開いていく過程は苦勞の連続だと深井は語る。後に続く世代に、サステナブルな世界をめざすビジネスでも成功できるという背中を見せたいとの思いで奮闘する。とはいえ、多くの人に会う過程で、価値観がどんどん変わる「価値観トラベラー」だと語る瞳は明るく、次の時代を創るミレニアルズならではの冒険の旅を応援したくなる。傍観者はせめて、胸元に輝くSDGsバッジをゴミにしないよう、大切につけ続けましょうね。(服飾史家)